

発行日：2019年6月10日

担 当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(一般財団法人日本花普及センター)



ジャパンフラワーセレクション2019-2020 ガーデニング部門 春審査会 審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」のガーデニング部門では、このたび、春に花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する春審査会において、10品種の審査を実施しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

なお、これらの中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。

【実施概要】

■審査会日時:

春審査会 2019年5月14日（火）
14:30～17:30

■開催場所:

千葉大学
環境健康フィールド科学センター
(千葉県柏市)

■審査品種:

ガーデニング部門 春審査対象7品種

■入賞品種: 7品種



【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

山本 岳史 豊明花き(株) 営業本部販売部次長(部門長)
尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役
杉井 志織 はなぐみ 代表
村上 智弘 (株)フラワーオークションジャパン 鉢物部 部長
山口 まり (一社)日本ハンギングバスケット協会 理事
渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 教授



<ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局>

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



<ジャパンフラワーセレクションとは>

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。

審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

<JFS受賞マークについて>



このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

<JFS2019 秋審査会・冬春審査会 出品募集中！>

審査圃場：千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録をつけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

ポット苗の
ご出品はこちらへ！

■出品料：1品種30,000円（税別）

*以下①②の条件に該当する方は、1品種10,000円（税別）です。

（減免対象者が2015年4月1日から一部変わりました）

①（一財）日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A

（都道府県、各種団体、企業、協同組合）

もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

② 全国新品種育成者の会の会員

*千葉大への苗の搬入可能日は、毎週火曜日午前中となります。

（苗の納入日は変更になる場合があります）

■JFS出品対象品種

① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種

② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの（海外で育種されたものも含む）

③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者

② 契約により日本における販売代理権を持つ者

（海外で育成された品種も出品可能）



▲審査圃場（露地花壇・屋根付き施設）の様子

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデンニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しみさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません) ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



日本フラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞受賞品種の授賞式 (東京大学弥生講堂)

2018年度のフラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞の授賞式は、2018年12月5日(水)東京大学弥生講堂にて行いました。



ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞 同時受賞]



5/24撮影

品目名 : マーガレット
 品種名 : ボンザマーガレット
 リーフ咲きレモネード
 出品者 : サントリーフラワーズ株式会社
 (東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : Andrew Bernuetz
 育成者権者 : Bonza Botanicals Pty Limited
 審査講評 :

イエローの花が咲き進むに連れ、サーモンピンク色に染まる色変わり咲き。色の混ざりが美しく、見ばえがし、消費者が扱いやすい特徴も持ち併せることからライフデザイン特別賞同時受賞。ピンチなしでこんもりとまとまる本シリーズの特徴を引き継ぎ、古い花の上に新しい花が咲くナチュラルな段差によって花がらが目立たないだけでなく、全体の雰囲気にも深みが出ている。下葉が枯れ上がらないところも好感が持てる。また、鉢物として取り扱われるのが一般的な本品目だが、本品種についてはガーデンでのパフォーマンスで魅力を発揮するため、ガーデン素材としても積極的に勧められる。



5/24撮影



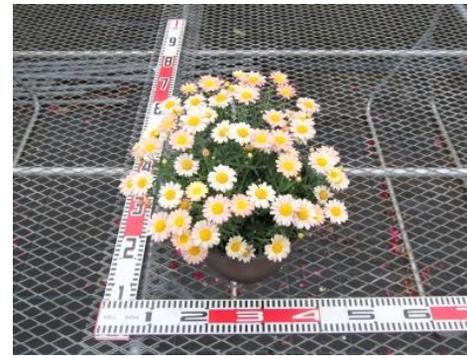
5/24撮影



▲2019/3/15 (定植後3日)



▲2019/4/16 (定植後35日)



▲2019/5/21 (定植後70日)



▲2019/3/15 (定植後3日)



▲2019/4/15 (定植後34日)



▲2019/5/20 (定植後69日)

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



5/24撮影

品目名 : ブラキカム
 品種名 : 星空マム ホワイト
 出品者 : サントリーフラワーズ株式会社
 (東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : Shaun Rebello
 Andrew Bernuetz

育成者権者 : Bonza Botanicals Pty Limited

審査講評 : 美しい純白花が、高密度に咲きあふれるため華やかさがある。早生で開花持続性が高く、次々に開花するため、グッドパフォーマンス特別賞同時受賞。葉は細いが、しっかりとしている。

株はバランスよく丸くコンパクトに収まり、特にガーデンでの株のまとまり方は秀逸。パフォーマンスもよく、単体よりもむしろほかの植物との混植で、一層魅力を発揮することに期待したい。しっかりとした花茎が適当な長さに伸びるので、従来品種よりも花がら摘みが容易だろう。本品目での手入れのしやすさは長所といえる。



5/14撮影



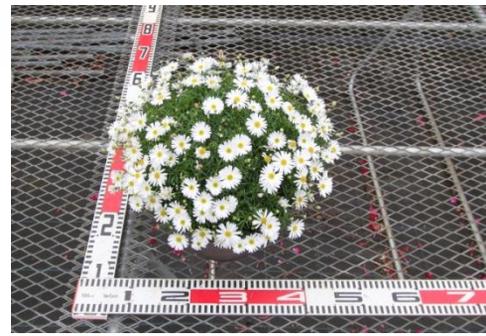
5/14撮影



▲2019/3/15 (定植後3日)



▲2019/4/16 (定植後35日)



▲2019/5/21 (定植後70日)



▲2019/3/15 (定植後3日)



▲2019/4/15 (定植後34日)



▲2019/5/20 (定植後69日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞 同時受賞]



5/14撮影

品目名 : キンギョソウ
 品種名 : リュミエール シフォン
 出品者 : 松原園芸(群馬県)
 ホームページ : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者 : 松原園芸

審査講評 : ほかの花ともなじみやすい、
 渋めのアイボリーの花色が美しい。少しウェーブがかかった斑入り葉は表情があり、カラーリーフとしても十分利用できる。新たな育種の提案であり、新しい価値観を生み出す品種として、ニューバリュー特別賞同時受賞。花色、斑入り葉、まとまった草姿のバランスがとてもよく、寄せ植えやハンギングバスケットでの利用はもちろん、ガーデンでのパフォーマンスも特筆すべき存在感がある。覆うように花が咲くため、花がらが目立たないのも利点。耐暑性、耐寒性に優れ、従来の本品目より強健。今後、新たな花色の展開に期待したい。



5/14撮影



5/14撮影



▲2019/4/5（定植後3日）



▲2019/4/16（定植後14日）



▲2019/5/21（定植後49日）



▲2019/4/5（定植後3日）



▲2019/4/16（定植後14日）



▲2019/5/20（定植後48日）

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞 同時受賞]



5/14撮影



5/14撮影



5/14撮影

品 目 名 : キンギョソウ
品 種 名 : ルシエル ソウ
出 品 者 : 松原園芸(群馬県)
ホームページ :

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育 成 者 : 松原園芸

審査講評 : これまでにない淡いピンクのころころとした花が、すずなりに咲くかわいらしい品種。利用の幅を広げてくれそうなシルバーリーフとともに、魅力を誘うことからニューバリュー特別賞同時受賞。丸くこんもりと茂り、揃いもよく適宜に株幅も出るため、特にガーデンでのパフォーマンスが素晴らしい。新しいグランドカバープランツとしての提案もできる。存在感のあるバランスのよい草姿を考えると、似た傾向のネメシアやディアスキアより扱いやすいだろう。耐暑性、耐寒性に優れ、丈夫で育てやすい。花色のせいか、‘リュミエールシフォン’に比べると、花がらがいくらか目立つ。



▲2019/4/5 (定植後3日)



▲2019/4/16 (定植後14日)



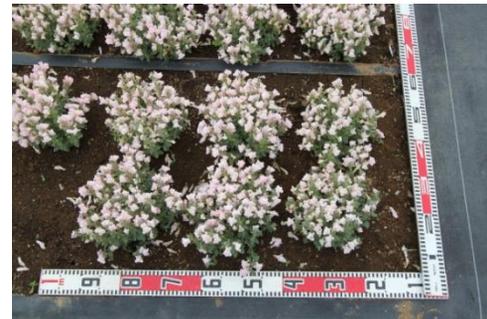
▲2019/5/21 (定植後49日)



▲2019/4/5 (定植後3日)



▲2019/4/16 (定植後14日)



▲2019/5/20 (定植後48日)

カラークリエイト特別賞



品目名 : ナデシコ
 品種名 : ミーテ さくらピンク
 出品者 : サントリーフラワーズ株式会社 (東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : Lena Gutbrodt
 育成者権者 : Nils Klemm
 審査講評 : 一輪の花もちが抜群によく、その間、花色の変化も楽しめる。ソフトピンクからホワイトに変化しながら咲き進む、やさしいグラデーションカラーが魅力的でカラークリエイト特別賞同時受賞。まとまりすぎず伸びる草姿がブーケのようで印象的。株全体はしっかりとして弱さは感じられないが、雨避け下での栽培の方がパフォーマンスが優れるため、コンテナなどに植え、軒下などでの栽培が向くだろう。こじんまりとしているのでガーデンでは植え場所の選択を工夫したい。コンテナ植えにして、間近で楽しむのもよいだろう。



▲2019/3/15 (定植後3日)

▲2019/4/1 (定植後20日)

▲2019/4/16 (定植後35日)

▲2019/5/21 (定植後70日)



▲2019/3/15 (定植後3日)

▲2019/4/15 (定植後34日)

▲2019/5/20 (定植後69日)

入賞



5/14撮影

品目名 : プラキカム
 品種名 : 星空マム ブルー
 出品者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : Shaun Rebello
 育成者権者 : Bonza Botanicals Pty Limited
 審査講評 :

涼しげでさわやかなブルーの花が次々と咲きあふれ、連続開花性が高い。本品目のなかでは早生。浮いたように見える花は、ガーデンでよく映えそう。ほかの植物との混植でも、魅力を発揮するだろう。まとまりよくのびのびとした印象で、パフォーマンスもほかに引けを取らない。‘星空マム ホワイト’に比べると、やや花数が少なめで花茎が長いため、花がら摘みも容易である。



▲2019/3/15 (定植後3日)

▲2019/4/15 (定植後34日)

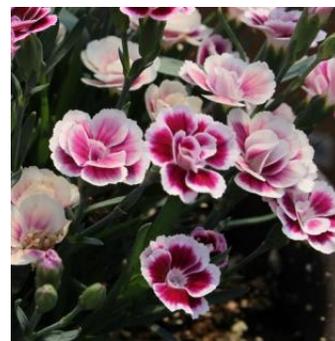
▲2019/5/20 (定植後69日)



5/14撮影

品目名 : ナデシコ
 品種名 : ミーテ ラズベリーローズ
 出品者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : Lena Gutbrodt
 育成者権者 : Nils Klemm
 審査講評 :

一輪の花もちがよく、優雅な濃ピンク色のバイカラーは、グラデーションになって変化していく様が印象的。株にボリュームがあり、十分な茎数。また、花数が多さの割に、‘ミーテ さくらピンク’に比べると花がらが目立ちにくいのも長所のひとつ。ただし花がら摘みは欠かせないだろう。ガーデンよりも雨避け下でのパフォーマンスが優れるため、コンテナ植えでの魅力も期待出来る。



▲2019/3/15 (定植後3日)

▲2019/4/15 (定植後34日)

▲2019/5/20 (定植後69日)



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準。」
ジャパンフラワーセレクション。